

キヨン サン ナム ド ハ ドン グン

豊かな観光資源を持つ慶尚南道・河東郡 工業都市発展へ向けて

外国企業からの投資を促進するために2003年に韓国政府が指定した経済自由区域。その中でも北東アジアのビジネスハブとしての機能を備える光陽湾圏経済自由区域内に注目のエリアがある。それが、慶尚南道・河東郡。山・川・海と三拍子揃った魅力溢れる観光都市が、工業都市への発展にチャレンジしている。今回は、初の誘致セミナーを開催するために来日した河東郡・崔正卿副郡守に、日刊工業新聞社・井水社長が「河東郡のこれから」について聞いた。

豊かな観光資源

井水 ようこそ日本においていただきました。まず初めに、河東郡が韓国の中でどういった位置にあるのか、お聞かせください。

崔 河東郡は行政区上慶尚南道に属しており、現在の人口は約5万2千人です。慶尚南道と全羅南道に挟まれた位置にあり、南海岸の海と連接しております。釜山市との距離は車で1時間30分ほどです。観光地として、双溪寺、青鶴洞、崔參判宅という朝鮮後期の生活住居があります。また陶磁器を焼くセミ村陶窯址などがあり、国内外から観光客が年間約700万人訪れております。2、3年後、工業団地が完成した際には1,000万人の観光客を予想しております。井水社長も一度、河東郡へお越しください。

井水 機会があれば、是非お伺いしたいです。観光客が年間700万人というのはすごいですね。やはり日本、アジア地区の方の訪問が多いのですか。



日刊工業新聞社 社長 井水 治博

崔 野生の緑茶が有名なのですが、河東野生茶文化祭りが開催される5月には多くの日本の方もお見えになります。

井水 おいしいお茶が採れるのはいいですね。日本人はお茶が大好きですから。

外国企業専用工業団地造成へ

井水 そしてこのたび、外国企業専用の工業団地を造成されます。

崔 河東地区(光陽湾圏経済自由区域内)は、外国企業の進出を図るため、2003年に政府からの経済自由区域に指定され、現在約370万坪の産業団地開発が行われています。湾と島に囲まれており、地震や津波の危険がない安全な地域です。近くには光陽港をはじめ泗川航空産業団地・POSCO光陽製鉄所・光陽国家産業団地・麗水国家産業団地などに多くの大企業があり、このような企業との取引が可能です。

井水 近隣の港を有効活用出来ますね。

崔 特に光陽港は、主要港として世界17位の規模で、年間2億4,200万トンの物流量を処理しています。河東経済自由区域内に建設される河東港は、2万トン級3バース規模

の貿易港であり、2016年までに建設が完了する計画です。こういった起業しやすい環境の光陽湾圏経済自由区域内には、現在96の外国人企業があり、この中で日本企業が6つあります。

外国人投資企業の経営環境改善、生活環境改善のため、河東経済自由区域は世界最高水準のグローバル先端産業団地造成を目標としています。

井水 大変すばらしい環境ですね。これからもさらに整備をされて、2016年までは大変立派な港町ができますね。

北東アジア、北米、欧州を結ぶ

井水 地域的にいえば、東アジアとの距離が非常に近くで、アジア地域へのハブ機能としては、最高の立地ですね。

崔 韓国は、地理的に北東アジアの中心にあります。その韓国の南海岸の中心に河東地区があります。光陽港はもちろん、造成中の河東港は、日本・中国などの北東アジアー北米ー欧州を結ぶメイン航路上に位置しており、北東アジアの貨物の中継と積み替え貨物の拠点地にもなります。また、上海など中国の主要港湾とも連携しており、背後団地は貿易活動が自由に保証される自由貿易地域です。製造業だけでなく、地理的な利点を活用した物流などのビジネスの中心地として生まれ変わるために努力もしています。

井水 優れた地理的・立地条件に恵まれていますね。今、サプライチェーンで、世界のモノづくりが特にアジア地区で一体化していますから、そこを中心に韓国だけではなく、他のアジア地区へも中継地としての役割を果たされるということですね。

崔 その通りです。シンガポールの次は韓国がその役割を果たすと思います。

井水 アジアだけではなく、北米や欧州との航路も。まさに世界に開かれるということですね。

魅力的な優遇制度

井水 現在どのような企業が入居されていますか。またどのような業種を誘致したいですか。

崔 POSCO光陽製鉄所と韓国南部発電の河東火力本部など多くの大企業が入居しています。さらには造船と海洋プラント分野で世界最高の建造技術を保有している大宇造船海洋が2015年に入居する予定です。

また海洋プラント・金属および鉄鋼・電気・機械製造関連の専門産業団地として開発しています。こちらは国費など725億ウォンの事業費を投入して海洋プラント総合試験研究院を建設中で、2014年6月に竣工する予定です。今後はそうした施設を活用して河東地区に入居する企業を技術開発などの面でサポートします。そして国際海洋プラント大学院大学を2015年上半期に開校する予定で、海洋プラントエンジニアリングなどの学位も授与する予定です。

井水 海洋、造船という分野に非常にすばらしい集積があるようですが、日本もかつては造船王国でした。弊社としても、モノづくり企業のネットワークはありますので、ご紹介できればと思っております。また5月23日に日本企業の海外進出をサポートする新会社、日刊工業グローバルビジネスサポートを発足させました。そういう弊社のツールも活用しながら、協力していかなければと思っております。

それは具体的に、インフラやインセンティブについてお教えてください。

崔 河東経済自由区域内から車で5分の距離に光陽港、南海岸高速道路が、30分の距離にKTX(韓国高速鉄道)があります。空路だと1時間30分ほどで金海国際空港があり、国内空港ですと30分の距離に泗川、麗水2つの空港があります。さらには河東経済自由区域内に進入道路4つ、

内部幹線道路、河東貿易港が2016年までに建設される計画です。

2013年度下半期には、外国人投資地域を2万5千坪以上の規模に指定する予定です。そうすると外国企業が500万ドル以上を製造業に投資する場合、最長50年間敷地の賃貸料を75%減免し、100万ドル以上の高度技術を伴う事業(電気、精密機械など)においては、最長50年間100%賃貸料を減免します。外国人投資地域の指定にかかる、現在、外国人投資比率が30%以上である外国人筆頭株主で、通常の分譲価格50%を補助するなど、雇用助成金・施設補助金・教育訓練補助金などをサポートしています。1,000万ドル以上を投資した製造業と500万ドル以上を投資した物流業については、法人税と所得税を3年間100%免除、その後2年間では50%減免、閑税は3年間100%免除します。

井水 素晴らしいですね。今、日本は法人税が結構高く、問題になってしまって、法人税の引き下げがポイントになっています。そういう意味では、韓国は税制のほうでもいろいろと優遇措置があり、日本企業にとっては大いに魅力があると思います。

充実のサポート

井水 韓国に限らず日本企業が海外へ投資するとなると様々な手続きが必要です。皆様のお声を聞いておりますと、苦労されていることですが、行政手続きなどの体制は整っていますか。

崔 外国企業の投資を支援するために各種の許認可業務をワンストップサービスで一括処理し、タスクフォースチームを構成して行政・財政的支援などのすべてをサポートしております。最初の投資相談から事業開始に至るまでの全過程において、プロジェクトマネージャーが空港からビジネス現場まで投資家に同行して積極的に支援しています。このようなサービスの全では、外国人企業および外国



河東郡 副郡守 崔 正卿(チエ・ジョンギョン)氏

人の便宜増進のため、公文書を英語で発行・受付・処理します。経済自由区域特別法に基づき、地区的指定、開発及び実施計画がすでに完了した為、迅速かつ手軽に入居可能です。

井水 ワンストップサービスが整っているのは、日本企業にとっても安心ですね。それでは最後に、日本企業の皆様にメッセージをお願いいたします。

崔 日本企業は国内企業よりも投資情報や投資のサポートなどの支援を受けることは難しいと言われますが、河東地区に進出する日本企業には国内企業よりも多くのサポートをする予定です。"遠くの親戚よりも近くの隣人"という言葉があります。日本と韓国は近い隣国です。隣人がうまくいくように韓国に進出する日本企業には最善を尽くしてサポートをし、ともに成長できる新モデルを作っていく所存です。

井水 私も大賛成です。日本と韓国は歴史的にも隣人ですし、力を合わせてお互いに経済発展をして頑張っていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

崔 ありがとうございました。



大韓民国慶尚南道 河東郡

慶尚南道 河東郡 河東邑 郡庁路23 www.hadong.go.kr
TEL:+82-55-880-2637 FAX:+82-55-880-2619